



理念

1. 信頼される病院
2. 心温まる病院
3. 楽しく働ける病院

基本方針

- ・ 地域における医療福祉の向上につとめ、地域住民のいのちと健康を守ります。
- ・ 地域の中核病院として、地域の医療機関と連携・協調を図ります。
- ・ 二次医療を中心に担当します。
- ・ 医療需要の増大と多様化に対応できる病院づくりを目指します。
- ・ 超高齢社会における治す医療と支える医療の両立を目指します。

新規採用者オリエンテーション

を行いました

今年度は平成から令和へと年号を変え、新たな時代を迎えます。当院は、医師7名、看護師12名など22名の新規採用職員と、市役所からの出向者3名、総勢25名が加わり、新たな時代へ一歩を踏み出します。

4月1日(月)新年度初日に辞令交付式が執り行われ、平野病院事業管理者から新規採用者一人ひとりに辞令を手渡された後、病院長からは「医療は日々勉強である」と、激励されました。

辞令交付式終了後は、8日間にわたる新採用者オリエンテーションのスタートです。4月1日～2日は、全職種の新規採用者を対象に、病院長訓話、当院の紹介、ルール、医療安全などの講義を行いました。深澤鳥取市長、鳥取市福祉部長寿社会課の橋本参事の講演には、在職職員も会場に足を運び聴講しました。3日～10日は看護局の新規採用者を中心としたオリエンテーションが行われ、職場に配属される前の確認として、採血・静脈注射実習、感染防止対策実習、電子カルテの使い方などの実技も行われました。最初は固い表情でしたが、実技やグループワークを通して会話が進むとともに笑顔も増え、緊張した様子は徐々に消えていき、同期生としての仲間意識もできたようでした。

新規採用職員は、オリエンテーションを経て、現在はそれぞれの職場に配属されています。先輩からの指導を受けながら学習し、経験を重ねて業務に慣れていきます。新規採用の看護師は名札に初心者マーク(若葉マーク)を付けていますので、どうか温かく見守ってください。

4月1日

辞令交付式／病院概要・サービス規定について
医療安全・事故防止について／BLS研修 など

4月2日

鳥取市立病院の求める職員像と人材育成としての人物像
感染防止対策(手指衛生等手技実習)
鳥取市長講話「鳥取市職員として期待するもの」 など



4月3日

看護局方針／医療安全(ヒヤリハット・患者誤認防止対策・転倒転落防止対策)／薬剤事故防止対策 など

4月4日

看護補助者業務体験／採血・静脈注射の実践 など



4月5日

輸液ポンプ、心電図モニター操作／院内ラウンド など

4月8日

褥瘡管理について／排泄援助／栄養管理 など

4月9日

電子カルテ操作実習

4月10日

オリエンテーション／交流会 など

現在はそれぞれの配属先でがんばっています!

令和2年4月1日採用

新規採用職員募集のお知らせ

	看護師・助産師	薬剤師	メディカル ソーシャルワーカー
募集期間	令和元年 5月 13日(月) ～ 6月 20日(木) 17時まで		
応募資格	昭和35年4月2日以降に生まれた方で、応募職種の免許および登録証(看護師・助産師免許、薬剤師免許、社会福祉士登録証)取得者(令和2年3月末までの取得見込者含む)		
提出書類	<ul style="list-style-type: none"> 履歴書(JIS規格) 看護師・助産師免許の写し(取得者のみ) 成績証明書(卒業見込みの方のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> 履歴書(JIS規格) 薬剤師免許の写し(取得者のみ) 卒業見込み証明書(卒業見込みの方のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> 履歴書(JIS規格) 社会福祉士登録証の写し(取得者のみ)
採用予定人数	20名	1名	1名
試験日および試験会場	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取会場 令和元年 7月 7日(日) 鳥取市立病院(鳥取市市場1丁目1番地) 大阪会場 令和元年 7月 20日(土) 鳥取県関西本部 (大阪市北区梅田1-1-3-2200大阪駅前第3ビル) 岡山会場 令和元年 7月 28日(日) サンピーチOKAYAMA(岡山市北区駅前町2丁目3番31号) 	<p>※履歴書の本人希望記入欄に「受験する試験会場」を記入して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取会場 令和元年 7月 7日(日) 鳥取市立病院 (鳥取市市場1丁目1番地) <p>※メディカルソーシャルワーカーは鳥取会場のみとなります</p>
試験方法	<ul style="list-style-type: none"> 論文試験(60分) 各職種において必要な見識、思考力、文章の表現力についての筆記試験 面接試験(15分) 個別または集団面接による人物についての口述試験 		

詳しくは、鳥取市立病院ホームページをご覧ください。

第59回 市民医療講演会

講演

脂肪肝について

鳥取市立病院 消化器センター長 たにくち ひであき 谷口 英明

肝臓がんの外科治療

鳥取市立病院 副院長(外科) おおいし まさひろ 大石 正博

開催日時

令和元年 5月 25日(土) 10:00～11:30

会場

さざんか会館 5階大会議室

駐車場はさざんか会館駐車場、鳥取市役所駅南庁舎駐車場をご利用ください。

手話を使ってみよう!

令和

4月1日に新元号「令和」が公表されました。同日、日本手話研究所において令和の手話表現も決定されました。



片手の指先を上に向けて、5本の指をすばめた状態で胸の脇に出します。



手を前に動かしながら、緩やかに指を開いていきます。

倉繁拓志先生の修業記

その10

3
月末の大雪

新年度が始まり、泌尿器科だけでなく病院全体で大幅な人事異動があったのではないのでしょうか。2年間のブランクで浦島太郎状態で戻ることになるので少し気にしています。こちらは3月31日におそらく今年度最後となる大雪に見舞われ一面銀世界となりましたが、4月に入ってからは徐々に暖かくなってきました。

クリーブランドの生活も残り3ヶ月を切り、研究の最終段階に入ってきています。とは言ってもなかなかいいデータが出ず四苦八苦しているのが現状です。6月にボストンで開催されるアメリカ移植学会に向けて追い込みをかけてはいますが、残念ながらまだ準備は整っていません。今度発表するのは、マウスの心移植後のさまざまな遺伝子の発現頻度と同時期の移植心の免疫染色を継時的にフォローし、マーカーなどに使用できる因子がないかの検討です。これは、私のボスが元々病理医で、免疫染色や病理診断を得意としているためです。心移植後の遺伝子発現頻度についてはヒトでも検討している論文が多く、マウスで勝負するのは難しいのですが、遺伝子発現と病理結果を併せて検討した内容は報告数が少ないためにこのような研究内容になりました。ただ、私にとって病理はもともと得意ではないのに加えて、対象がマウスの標本のために非常に苦勞しています。最終的にはボスが診断し、その結果を聞いて随時戦略を練り直すことにしています。

先月意を決して大腸ファイバーを受けてきました。今年に入り便に血が付着し始めて、治まる気配がないためクリニックの消化器内科を受診しました。結果的には幸いにも重篤な疾患ではなく、約30mmと5mmのポリープ切除となりました。

診療の流れは、まず電話で消化器内科の予約を取り、2週間後に受診となりました。白人の初老の先生と若いレジデントが担当となり、どこまで会話が成立するか少し心配で、希望すれば通訳もつけてくれるのですが、比較的聞き取りやすく安心して診察を受けられました。初診時は問診と簡単な理学的所見をとただけで、すぐにカメラをする方針となり、2週間後に予約が入りました。

検査前日からの絶食と当日朝に約4Lの緩下剤を服用後、16時から検査に臨みました。麻酔前投薬を投与され、意識消失まではいきませんでした。すぐに朦朧となった気がします。初診時と同じ先生はいましたが、カメラ担当医はターバンを巻いたインド系の医師でした。私自身初めて行う処置でしたので、多少ナーバスにはなっていました。前投薬がしっかり効いていたためか、ほとんど苦痛を感じることなく2個のポリープ切除は終了しました。

日本人は胃がんが多いということで、胃カメラ検査も行われましたがこちらも異常はなく、実際の検査時間は併せて30分程度で終了し、前処置室で休憩した後に無事帰宅となりました。カメラの検査後は医師と会うことはなく、看護師さんから画像付きの内視鏡所見が手渡されました。ポリープの大きさや、部位などが詳細に記載され、短時間で作成されたことに少し驚きました。病理結果や再診日について看護師さんに質問すると、病理結果は約1週間後に出るため、受診前に作成しているクリニックの自分のアカウントに入って確認するように伝えられました。検査5日後にメールに検査結果が出たと通知があり、病理結果が良性腫瘍であることを自分で確認、併せて医師のコメントとして毎年定期的にカメラ検査を受けるようにとあり、終了となりました。もし、悪性所見などがあれば、再診日の予約が必要だったのではないかと推測されます。このような効率的な診察の流れは、無味乾燥にも感じましたが、いかにもアメリカらしいとも思いました。

こちらに来て様々な経験をさせて頂き、残り僅かとなった今は少し寂しさも感じます。特に子供達は、1年目よりも今の方が現地の友達もたくさんで学校も数段楽しくなったようで、まだアメリカに残っていたいと口を揃えて言います。ただ、私は日本食(特に海産物)が恋しくなっているのも事実です。しっかり体調管理をして元気に診察にあたれるようにして帰国したいと思います。

